



2026 年 8 月 6 日

各 位

会社名 株式会社ヨコオ
代表者名 代表取締役兼執行役員社長 柳澤 勝平
(コード番号6800 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員 SCI本部長 多賀谷 敏久
(TEL. 03 - 3916 - 3111)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

2026 年 5 月 13 日に公表しました 2027 年 3 月期第 2 四半期（中間期）及び通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想修正の内容

(1) 中間期（2026 年 4 月 1 日～9 月 30 日）

	前回発表予想 (A) (2026年5月13日 公表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B－A)	増減率 (%)	(ご参考) 前年同期累計実績 (2025年4月1日～9月30日)
売 上 高 (百万円)	48,000	50,000	+2,000	+4.2	42,675
VCCS	27,500	27,650	+150	+0.5	27,238
CTC	13,000	14,400	+1,400	+10.8	8,952
FC・MD	6,100	6,250	+150	+2.5	5,525
インキュベーション センター	1,400	1,700	+300	+21.4	956
その他・調整額	—	—	—	—	2
営 業 利 益 (百万円)	3,300	3,900	+600	+18.2	1,507
VCCS	1,000	300	△700	△70.0	895
CTC	2,400	3,750	+1,350	+56.3	804
FC・MD	250	200	△50	△20.0	239
インキュベーション センター	△350	△350	—	—	△453
その他・調整額	—	—	—	—	21
経 常 利 益 (百万円)	2,800	3,800	+1,000	+35.7	1,301
親会社株主に帰属する 中間純利益 (百万円)	1,950	2,800	+850	+43.6	1,332
1株当たり中間純利益 (円 銭)	83.65	120.09	—	—	57.18

(2) 通期 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	前回発表予想 (A) (2026年5月13日 公表)	今回修正予想 (B)	増減額 (B－A)	増減率 (%)	(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)
売上高 (百万円)	97,000	101,000	+4,000	+4.1	90,090
VCCS	55,000	55,500	+500	+0.9	56,096
CTC	27,000	29,950	+2,950	+10.9	19,610
FC・MD	12,200	12,450	+250	+2.0	11,458
インキュベーション センター	2,800	3,100	+300	+10.7	2,920
その他・調整額	—	—	—	—	4
営業利益 (百万円)	7,000	8,000	+1,000	+14.3	5,016
VCCS	2,000	750	△1,250	△62.5	2,198
CTC	5,200	7,550	+2,350	+45.2	2,931
FC・MD	500	400	△100	△20.0	551
インキュベーション センター	△700	△700	—	—	△690
その他・調整額	—	—	—	—	25
経常利益 (百万円)	6,500	7,900	+1,400	+21.5	5,528
親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	4,500	5,600	+1,100	+24.4	3,886
1株当たり当期純利益 (円 銭)	193.05	240.17	—	—	166.71

2. 修正の理由

(1) 中間期

売上高につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び直近の受注見通しを踏まえ、上表のとおり修正いたします。

営業損益につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績を踏まえ、VCCS セグメントにおいて減益を見込むものの、CTC セグメントにおける増収に伴う増益及び想定為替レートの円安方向への見直しによる影響により全体としては増益を見込むことなどから、上表のとおり修正いたします。

経常損益及び親会社株主に帰属する中間純損益につきましては、想定為替レート 1 米ドル＝155 円の下、為替差損 100 百万円などを見込み、上表のとおり修正いたします。

(2) 通期

売上高につきましては、想定為替レートを 1 米ドル＝155 円（前回予想時は 1 米ドル＝150 円）と円安方向に見直したことに加え、CTC セグメントにおける生成 AI 関連需要を中心としたさらなる受注増加及び生産能力増強効果を見込むことなどから、上表のとおり修正いたします。

営業損益につきましては、VCCS セグメントにおいて中間期と同様に減益を見込むものの、CTC セグメントにおいて生産能力増強に伴う初期コストを一部織り込みつつも増収に伴う増益を見込むことなどから、上表のとおり修正いたします。

経常損益及び親会社株主に帰属する当期純損益につきましては、想定為替レート 1 米ドル＝155 円の下、下期での為替差損益は発生しないものと見込み、上表のとおり修正いたします。

(注) 本資料に記載の予想数値は、公表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上